

平成29年10月臨時会における議案等審議結果表

1. 議案等

会期：平成29年10月3日（1日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議案第61号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について	—	原案可決
議案第62号	監査委員の選任について	—	同 意

2. 議員提出議案

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
委員会提出議案第1号	えびの市議会委員会条例の一部改正について	—	原案可決
委員会提出議案第2号	議会広報特別委員会の設置について	—	原案可決
委員会提出議案第3号	議会報告公聴特別委員会の設置について	—	原案可決

10月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：平成29年10月16日～11月6日（22日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第8号	平成28年度えびの市健全化判断比率について	—	—
報告第9号	平成28年度えびの市資金不足比率について	—	—
報告第10号	専決処分した平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)の承認について	予算審査特別委員会	原案承認
議案第63号	えびの市アウトドアビクターセンター条例の制定について	産業厚生	原案可決
議案第64号	えびの市空家等対策審議会条例の制定について	総務教育	原案可決
議案第65号	えびの市証人等の実費弁償に関する条例等の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第66号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	産業厚生	原案可決 (13:1)
議案第67号	えびの市営住宅条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第68号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について	予算審査特別委員会	原案可決 (13:1)
議案第69号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	産業厚生	原案可決
議案第70号	平成29年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	産業厚生	原案可決
議案第71号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	産業厚生	原案可決
議案第72号	平成29年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	総務教育	原案可決
議案第73号	平成29年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	総務教育	原案可決
議案第74号	動産の買入れについて	—	原案可決
認定第1号	平成28年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	認 定 (11:3)
認定第2号	平成28年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産業厚生	認 定 (13:1)
認定第3号	平成28年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	産業厚生	認 定
認定第4号	平成28年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産業厚生	認 定 (13:1)
認定第5号	平成28年度えびの市水道事業会計決算の認定について	総務教育	認 定
認定第6号	平成28年度えびの市病院事業会計決算の認定について	総務教育	認 定

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
請願第1号	有害鳥獣駆除班結成についての請願書	産業厚生	継続審査

10月臨時会

平成29年10月臨時会は、10月3日開催し、議案2件、議員提出議案3件、計5件を審議しました。結果は前項の審議結果表のとおりです。

予算関係の議案

議案第61号

平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第5号）について
平成30年8月（仮）防災食育センター」供用開始に併せて購入予定の給食配送車に係る費用です。（給食配送車は特別な仕様が必要のため、納入まで期間を要するもので債務負担行為を設定するものです。）

議員提出の議案

改選前の議会改革特別委員会にて調査、研究等行った結果、より充実した委員会体制がとれるよう新たに2つの特別委員会を設置し活動します。（原則として2年交代）

議員提出第2号

議会広報特別委員会の設置について
付託案件
・議会だよりの発行に関する事
・市議会ホームページに関する事

議員提出第3号

議会報告広聴特別委員会の設置について
付託案件
・議会報告会の実施に関する事
・公聴会制度の活用に関する事

10月定例会

平成29年10月定例会は、10月16日から11月6日までの22日間開催し、報告3件、議案12件、認定6件、請願1件の計22件を審議しました。結果は前項の審議結果表のとおりです。

条例等の議案

議案第63号

えびの市アウトドアビジターセンター
条例の制定について
道の駅えびのの敷地内に、アウトドアに触れ楽しむための拠点施設を整備し、道の駅との相乗効果による交流人口拡大と観光振興を通じた地域経済の活性化を目指すため制定します。
（※詳しくは、P. 5 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。）

議案第64号

えびの市空家等対策審議会条例の制定について
空家等対策の推進に関する特別措置法に規定する空家対策について、調査及び審議する機関を設置するため制定します。
（※詳しくは、P. 4 総務教育常任委員会報告を参照下さい。）

議案第66号

えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について
えびの市美化センターに隣接する浴場施設の老朽化に伴い、平成29年12月31日に閉館予定であるため、条例の一部を改正するものです。
（※詳しくは、P. 5 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。）

予算関係の議案

議案第74号

動産の買入れについて
給食配送車（3台）を購入するものです。
（購入価格・1,756万800円）

議案第68号

平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第7号）について
歳入歳出それぞれ4億2,606万6千円追加し、補正後の予算総額は144億2,909万円となります。主なものは、消費税では防災食育センター建設事業費に係る進入路整備工事請負費1,044万8千円、教育費では重要遺跡確認調査委託料80万8千円などです。
（※詳しくは、P. 6 平成29年度予算審査特別委員会報告を参照下さい。）

認定第1号

平成28年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について
平成28年度えびの市一般会計の予算総額は142億1,185万4千円、決算額は歳入が138億1,671万8千円（対前年度比14.9%増）、歳出が133億707万3千円（同14.6%増）。歳入歳出の差引額は5億964万5千円（25.7%増）となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は4億8,599万5千円（同31.2%増）となっています。
（※詳しくは、P. 7 平成28年度決算審査特別委員会報告を参照下さい。）

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

10月定例会において、当委員会に付託されました議案5件・認定2件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案及び認定は原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第64号 えびの市空家等対策審議会条例の制定について

この条例は、今後空家対策を推進していくために、空き家対策特別措置法に規定されている空家等対策計画の策定、対策の実施、空き家対策についての調査及び審議を行う機関を設置するため、えびの市空家等対策審議会条例を制定し、審議会の設置目的や運用について定めるものです。

Q…審議会委員15名に含まれる学識を有する者とは何名を予定しているのか。

A…有識者という位置付けで9名（弁護士・司法書士・登記の専門官・土地家屋調査士・宅地建設取引士・建築士・自治会代表者・警察・消防等）、残りの6名は市内の空家に関する担当課職員となる予定である。

②議案第67号 えびの市営住宅条例の一部改正について

この改正では、老朽化した市営住宅の解体作業が完了したので、管理戸数の改正を行うものです。

【下五日市5号1棟（1戸）・芋畑43の2号1棟（4戸）・中島B団地40の2号1棟（2戸）】

Q…今回の改正で7戸減となるが、現在の市営住宅戸数は。

A…現在487戸管理している。

Q…老朽化した市営住宅が多いが、今後の市営住宅の在り方について計画等はあるのか。

A…現在、政策空家という手法を取り入れ、老朽化した市営住宅においては退去者が出た時点で、次の入居者を募集せず、長屋において全室空いた時点で、戸建てにおいても同様の措置を講じて解体する。

③議案第73号 平成29年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について

Q…医師・薬剤師確保において、現在の進捗状況と、病院内の検討委員会での協議内容は。

A…医師確保のため、昨年から実

施しているインターネットを活用した募集型（広告募集）を活用した斡旋型事業にて、病院の勤務条件・採用条件などがマッチングした医師に対して働き掛けているが申し込みに至っていない。薬剤師に関しても、県内16自治体公立病院でも確保に苦慮している現状である。これまで院外薬局は病院敷地内に設置出来なかったが、昨年の薬事法改正で規制緩和されて設置可能となった。将来を見据え、院外薬局設置も含めて様々な検討を行う。

④認定第5号 平成28年度えびの市水道事業会計決算の認定について

Q…個人の未収金の徴収方法。併せて、不納欠損処理後の管理はどのようなになっているのか。

A…現在徴収員2名に個人委託しており、積極的に徴収に回る対策を講じている。滞納については3期分以上の滞納があった場合は給水停止の対象となる。

Q…給水人口344人減少（17、632人）・戸数16戸減少（8、540戸）となっており、今後

人口減少が見込まれる中、年々給水人口も減少すると予想される。一方、新たな第2水源確保による維持費もかかる。今後の対策等は。

A…様々な課題を踏まえ、継続可能な水道事業経営を行うため、今後10年間の経営戦略を現在作成している。

⑤認定第6号 平成28年度えびの市病院事業会計決算の認定について

Q…入院患者数342人減少（12,094人）・外来患者数1,909人減少（26,227人）となっており、当年度純損失額は391万9,043円。当年度未処理欠損金は5億3,469万7,434円となる。今後の運営方針は。

A…新公立病院改革プランでも検討し、2025年地域包括ケアシステム完結を目標に、病床転床等含め増収確保策を院内プロジェクトチームやコンサルにて検証する。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

10月定例会において、当委員会に付託されました議案5件・認定3件・請願1件について審査を行いました。審査の結果、請願1件は継続審査とし、全ての議案及び認定は原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第63号 えびの市アウトドアビクターセンター条例の制定について

Q…この条例の目的は何か。

A…現在までBEIPAL（ビール）に委託して、アバンドント白鳥や矢岳高原を利用したキャンプイベント等を実施してきました。市内には環境的に良く、また多くの素材があり、これまで関係機関とも協議をしてきた。交流人口の増加を図るため、今回ビクターセンター条例の制定をお願いするものである。

Q…条例の中ではアウトドアビクターセンターとなっているが、設計概要の中の使用用途に観光案内所と記載されているが、道の駅に入っている観光協会との

関連は。

A…大きな枠としては観光案内所の分類になるが、今回の目的はアウトドアを紹介し、様々な情報提供をおこなう場となる。

②議案第66号 えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について

Q…施設の老朽化は、浴場施設廃止の理由にはならないのではないか。また、施設廃止後の対象地区（4自治会）への報償金は、ばらまきになるのではないかと。

A…施設建設当時の合意条件として、「入浴施設を造ること」とあった。建設後、年数の経過とともに、施設の老朽化や利用者の減少、また施設維持に300万円ほどかかることが課題となっている。地元との協議の中で、費用対効果を考えると今回の提案に変えた方が地域住民にとってもメリットがあるとのことであった。

③認定第2号 平成28年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

この議案については、国民健康

保険税を引き下げるとともに、えびの市からの特段の配慮と、一般会計からの繰り入れが必要であり、安心して医療が受けられる制度とすべきだとの反対討論がありました。挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。

④認定第4号 平成28年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

Q…えびの市でも年金額が少ないため介護保険料が払えず、介護が受けられないとの声を聞くが、対策はとれないものか。

A…介護保険料を滞納されているも介護認定を受ける権利はある。ただ、不納をされた2年間の未払いの人に関しては、給付制限が3割かかるので、そこはご理解いただきたい。

この議案については、えびの市としてもしっかりした対策をとるべきとの反対討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。

⑤請願第1号 有害鳥獣駆除班結成についての請願書

請願第1号については、紹介議員及び請願人に請願の趣旨説明を求めました。「現在、猟友会内の実施隊（通称・追っ払い隊）の班編成は、飯野地区21名・加久藤地区0名・真幸地区19名であり、加久藤地区には実施隊がなく、この地区の農家の要望や被害が守れない。加久藤地区にも罫だけの実施隊の班編成ができるようにして欲しいとの趣旨である。」と説明がありました。委員会としては、今後執行部への聞き取り調査等も必要であるとの意見があり、継続審査とすることに決しました。

産業厚生常任委員会
委員長 西原 義文

議案等の 審査

予算審査特別委員会報告

平成29年度一般会計予算の補正

10月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、報告第10号専決処分した平成29年度及びの市一般会計予算の補正（第6号）の承認について、及び議案第68号平成29年度及びの市一般会計予算の補正（第7号）についての2件でありました。

審査の結果、報告第10号については討論もなく原案のとおり全会一致で承認すべきものと決しました。議案第68号については、民生費国民健康保険特別会計繰出事業費及び介護保険特別会計繰出事業費、衛生費美化センター運営費周辺地域活動報償金について、反対の討論があり採決の結果「賛成多数で原案のとおり可決すべきもの」と決しました。以下審査内容の主なものを報告します。

①地域公共交通対策費について

Q…事業の内容はどのようなものか。

A…高速道路バス利用者駐車場を造成するので、面積2,490㎡の造成費、及び待合所あずま屋の移転経費である。

②美化センター運営費 周辺地域活動報償金について

Q…周辺地域活動報償金を支給する理由は。

A…ごみ焼却施設の余熱を利用した、浴場施設を平成29年12月31日で閉館するので、「美化センター周辺整備事業に関する確約書」に基づき浴場施設の代替え施策として、関係4自治会（苧

畑、坂元、前田、大明司）に年間一地区当り40万円を限度額として予算の範囲内で支給するものである。補正予算40万円は平成29年度分を月割り計算し、一地区10万円を支給するものである。

A…予算は体育館更衣室の雨漏り修繕工事費である。他の体育館は、平成27年11月に修繕計画を立てて優先順位を決めて実施している。指定管理者にも意見を出すように伝えており、現場を直接調査して対応する。

③農業用施設維持費 測量設計委託料について

Q…測量設計委託料の内容は。

A…堂本用水路を横断する水路を改修するもので、工業団地事業とは切り離して、別途事業として実施するものである。

④体育施設管理事業費について

Q…今回の予算は市民体育館の雨漏り修繕工事との説明であるが、市内全体育館の修繕計画は。

予算審査特別委員会

委員長 北園 一正

議案等の審査

決算審査特別委員会報告

平成28年度決算審査結果

10月定例会において、当特別委員会に付託された「認定第1号平成28年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、10月23日から27日までの5日間の日程で、事業等の成果や執行状況を中心に審査を行いました。

審査の結果、民生費の臨時福祉給付金事業、民生費の高齢者クラブ活動費補助金、商工費の工業団地整備事業費、農業費の地域農業活性化事業費、林業費のしいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金、土木費の未登記処理事業費、以上6件について反対の討論がありました。採決の結果は、賛成多数で認定すべきものと決しました。以下、審査内容の主なものを報告します。

①市有林森林整備事業費 防火帯整備委託料について

Q…委託料の内容は。
A…防火帯整備事業の内容は、霧島演習場の防火帯設置上の協定書に基づき実施した箇所（演習場と市有林、民有林境界）が面積4ha、霧島千草木地区（市有林と共有林境界）8haを実施したものである。

Q…事業は市の単独費事業であると

の説明であるが、霧島演習場周辺の防火帯は補助事業として実施できないのか。
A…基地・防災対策課とも協議をして対応していく。

②高齢者活動支援対策事業費 高齢者クラブ活動費補助金について

この件については補助金の在り方について多くの質疑がありました。特に平成26年6月定例会で市長が「20名以下の組織に対しても助成すべき」と考えている。担当課に補助金交付要綱の見直しについても指示をしたと考えております」と答弁していたので、その後の取り組みについて、市議会委員会条例の規定により市長の出席を求め審査を行いました。

Q…一般質問で要綱の見直しを提案していたが、平成26年6月現在で10地区の高齢者クラブが休止していた。今後どうするのか。
A…補助金制度の見直しは、社会福祉協議会をはじめ関係者に構成員が20人以下であっても補助の対象とする説明はしていた。補助金交付要綱を今期定例会中に作成して議会に提出する。又社会福祉協議会には正式文書で通達する。

③地域農業活性化事業費 地域おこし協力隊員報償金・農業研修委託料について

Q…協力隊員報償金と農業研修委託料が支払われている。研修生受入れ事業の内容は。
A…平成28年度に3名がえびの市で農業研修（有機農業）の希望があったので、市内の農家で協力隊事業を活用して実施したものである。

受入れにあたり体験研修も行っていたが、研修生の考えと現場での研修内容と隔たりがあり、最長3年の研修期間を1年で終了とした。また、研修生3名は現在市外に転出している。

Q…事業の経費は一般財源として支出してある。研修生は市外に転出しているが、今後どのようになるのか。
A…地域協力隊員報償金と農業研修委託料は特別交付税の対象となる。

④矢岳高原オートキャンプ場管理費について
Q…管理費が560万7千円かかっている。今後の運営はどのようなになるのか。
A…管理費のうち327万円が管理補助委託料で、平成28年度の利用者365名で収入が上がつていない状況にある。現在4月から9月までの運営であるが、10月11月がキャンプに適しているとの専門家の意見があるので、業務に係わる経費を考慮して効果的な運営を検討する。

⑤市道の未登記処理事業費について
Q…市道の未登記処理事業の現状はどのようなになっているか。
A…平成28年度は臨時職員賃金、測量賃金、測量委託料の予算で事務を進めている。
Q…未登記処理の市道は、提供者に課税されている状況となっている。非課税措置等の業務を進める必要がある。
A…市道の認定数は983路線、延長640kmで未登記処理の延長は把握できていない。業務については毎年予算の計上、地籍調査、非課税措置等を活用して事務を進めている。今後の対策は、課内や税務課とも協議を進めて方向性を出していきたい。

⑥体育施設管理事業費について

Q…体育施設管理の一例としてグラウンド整備の管理が果たして十分に実施されているか疑問がある。担当課は指定管理者にどのような指導を行っているのか。
A…施設の管理方法について、今年度から管理仕様書を作成して指示を行っている。今後、仕様書に基づき作業が進んでいるか突合を行い施設の管理を行う。

決算審査特別委員会

委員長 北園 一正

各常任委員会視察・研修会等の報告

総務教育常任委員会 調査・視察報告

10月定例会にて、当委員会への付託議案として審査した案件に関

わる【①えびの市営住宅の現状について】【②空家実態調査について】財産管理課同行のもと、視察研修を行いました。空家に関しては、特措法に基づく空家等対策審議会設置のみでなく、環境・健康・景観・防犯等の多岐に渡る空家課題に対処するため、関係課等

で構成する空家等対策庁内会議を設けるとのことでした。

市営住宅に関しては、昭和の3町合併以前に建築した住宅もあり、老朽化はもちろん、高齢者の入居者も多く、草刈りや樹木剪定等も含め環境整備課題があるそうです。年々入居率は低下していて、その理由は古い住宅が多いというだけでなく、人口減少による需要と供給のバランスの変化も一因のようです。市営住宅のみならず、空き家についても適正な管理がなされるよう、今後先を見据えたうえで先進事例等の研究を行い、定住・移住に結び付ける対策を構築する必要がありますと感じました。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美



政策空家の対策が講じられた市営住宅

宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議研修会報告

11月16日(木)宮崎市民プラザにて、宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議の平成29年度研修会が開催されました。

活動報告では「持続的な全循環型林業の確立〜50年後を見据えた森林づくりについて」。基調講演として、中国木材株式会社九州事業部、後藤哲朗氏より「変化に対応する中国木材」をテーマとし、次に森林研究・整備機構森林総合研究所、木口実氏より「木質バイオマスの利用研究の現状、未来」をテーマとした二部構成で話されました。

本県の杉の素材生産量は26年連続で日本一であり、大型製材工場や木質バイオマス発電施設の稼働、木材輸出量の増加など、林業の成長産業化に向けての現状や課題が紹介されました。さらには東京オリンピック。パラリンピック競技大会関連施設絵の木材利用や、新たな木材製品として注目を浴びているCLT(集成材)の生産・活

用など、今後住宅以外の分野でも木材需要を拡大するうえで大いに期待できるとのことでした。

えびの市林業活性化議員連盟連絡協議会としても、林業従事者の育成及び林業生産体制の確保、林業経営の安定化に向けて、森林整備、林業担い手育成、森林整備地域活動支援、林道網総合整備、林業活性化など事業の促進に取り組んでいくことを新たに決意した研修会でありました。

えびの市森林・林業・林産業
活性化議員連盟

吉留 優二

※その他、11月8日(水)に宮崎市で開催された平成29年度宮崎県市長会研修会に5名の議員が参加しました。時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏を講師に迎え、国政状況等について講演されました。

一般質問

10月定例会では、12人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

道の駅えびのに コインシャワー施設を



西原 義文
議員

質問 以前、道の駅えびのにコインシャワー施設設置を提案したが進捗状況は。

畜産農政課長 道の駅へのシャワー設置状況についてはネットで確認した。コインシャワー設置施設について、全国に1,117ヶ所設置されており、九州管内では2ヶ所である。シャワー設置の要望については、道の駅や行政窓口である国交省宮崎河川国道事務所を担当者に尋ねた。宮崎トラック協会からはコインシャワー設置要望は届いておらず、道の駅えびの以外の道の駅に対して大型トラック用の駐車スペース確保について

の要望がある。

質問 国交省がETC2.0登載を条件として、えびのIC利用者に対して1時間以内の滞在者への優遇措置を始める予定だと聞いているが、市の対応等はいかがか。

畜産農政課長 国交省が行う実証実験により、道の駅の利用者が増える予想である。まずは、情報発信強化と施設整備に努める必要がある。大型車輛スペースが観光バスを含め6台分ある。現時点においては、大型車輛の対応駐車スペースの確保を優先して取り組む考えである。



E T C 搭載車の実証実験で、より利便性向上の期待が高まる道の駅

市民の声に寄り添った市政政策を！



遠目塚 文美
議員

質問 議会報告会でも、子ども達が安心して集える公園整備の要望があった。市としての考えは。

市長 車を使わず出掛けられる身近な公園整備の必要性は感じている。今後、小規模公園の整備について検討する。

質問 部活動の各校連携支援や、国も動き始めている教職員の負担軽減について、市の考えは。

市長 少子化の影響もあり、学校単体での部員確保が困難なため、合同練習など支援策を検討する。

教育長 合同練習や専門性のある外部指導者活用、休養日を設けるなど教職員の負担軽減策についても校長会等で協議している。

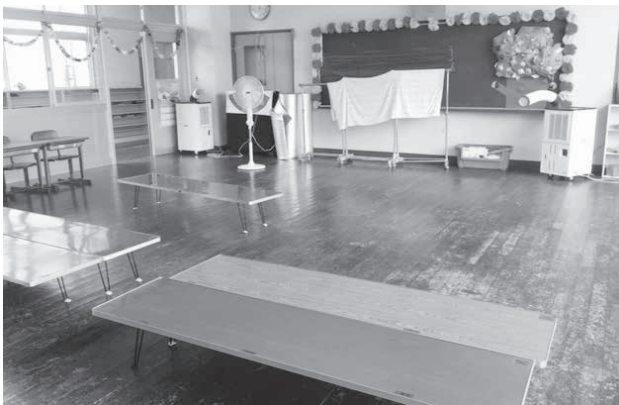
質問 児童クラブの運営規定は定めてあるのか。

福祉事務所長 市直営について

は国の運営指針に基づいて行っているが、委託先については早急に各児童クラブで運営規定を作成し、適切な運営に努めていただく。

質問 現在、地元既存商店が移動販売車で巡回営業を行っている。他自治体では行政と民間が連携を図っている。市としての考えは。

市長 市民アンケート等で、市内の実態調査を早急に実施する。



年々需要（利用者）が増えている学童クラブ

県道えびの飯野停車場線の歩道について



金田 輝子
議員

建設課長 現況に合わせて、セミフラットということの詳細を県と打ち合わせをしていく。

質問 県道えびの飯野停車場線は、飯野の主要線であり、小中学校、高校の通学路・市立病院や郵便局、買い物などに出かける際、市民の足となる歩道には50年経過した樹木の根も伸び、歩道の方へ亀裂が入り、足を取られる所もある。つっじも老木化して失くなっている所もあり、アップダウンが激しく、自転車も通りづらい。景観も大切だが、子供や市民のためには安全が第一。見通しが良く、段差なしで歩けるのが一番である。今後の修繕等の見通しについては、**市長** 歩道舗装の修繕について、道路利用と安全確保を合わせ、県へ要望する。

質問 県道なら市の負担金なしで実行出来るはずだが、歩道改善も要求したい。



安全に通行できる歩道整備が求められる

安心して子どもを産み育てる環境づくり



松窪 ミツエ
議員

質問 安心して子どもを産み育てる環境づくり対策として、地元への産婦人科の設置について考えはないか。

市長 産婦人科医師の確保が大きなテーマ。複数の産婦人科医が確保できるかどうか、医師全体の確保も含めて対応していきたい。

質問 女性の人口増の対策として、女性に魅力のあるまちづくり、若い人たちの力を引き出すまちづくりについての考えはどうか。

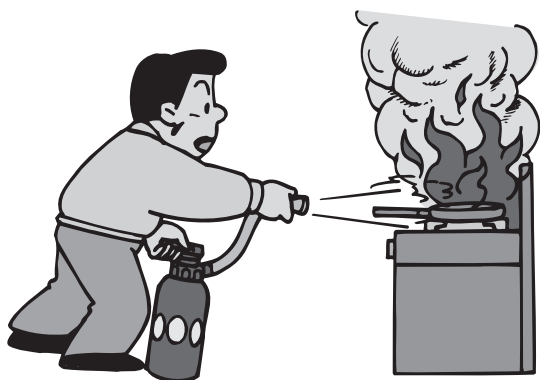
市長 人口の減少を食い止めるためには、女性人口の維持と増加が非常に大事になる。若い人たちが女性の皆さんが魅力を感じていただく視点を持ちながら、まちづくり政策を官民一体で進めていきたいと考えている。

質問 大陸間弾道ミサイルを想

定した住民の避難訓練は国民保護計画にも明記してあるが、実施の考えはあるか。

市長 現在、教育委員会と協議して年度内には実施する予定で具体的な検討を進めている。

学校教育課長 市内の一つの学校をモデルとして実施し、その後各学校長の判断の下で避難訓練をする予定である。



商工振興及び地域経済の活性化



吉留 優二
議員

質問 近年の建設投資の急激な減少や競争の激化により、建設業を取り巻く環境は悪化している。市内商工業者（建設業、農林産業）への優先的発注を今後どのように取り組む考えか。

市長 公共事業においては、なるべく地元企業に発注してる。

副市長 指名においては、可能な限り市内の業者を指名して指名競争入札を行うようにしている。市内業者が対応に困難と思われるものについては、市内業者育成という観点を基にジョイントベンチャーにより入札参加されている。

質問 市内の若者が2014年に、矢岳高原活性化委員会という団体を立ち上げ、全日本トライアル選手権誘致に向けて頑張っている。この全日本トライアル選手権

誘致は、地域経済・観光振興や人づくりにも大きな役割を果たすと思うが見解を伺う。

市長 森林管理署とも打ち合わせをし、平成31年度の全日本トライアル選手権大会開催に向けて進めて行く。



矢岳高原の活用に繋がるアウトドアスポーツ

鳥獣被害の絶滅と工業団地計画の検証



中山 義彦
議員

質問 鳥獣被害問題は、会計検査院の改善要求のような課題がある。有害鳥獣の根絶に向けた抜本的対策を講じていただきたい。

農林整備課長 現在は機材、資材費の補助を行っている。

質問 工業用地は、1工区のみで計画で決定か。

市長 1工区だけの計画で決定である。

質問 事業性評価はなされたか。

市長 工事費は、県の単価でコンサルが積算し、市の技術者が確認してまとめた。

質問 コンサルの金額と、議会や市民に示した金額が同じものか。全てを市の積算基準で算出したものではない。コンサル資料を精査し、再度積算して、市民に示すこと。また、詳細設計の前に、軟弱

地盤沈下と液状化対策のための調査を行い、事業費の2/3を占める工事費を正確に把握すべきである。

さらに、用地買収費・分譲費の問題が、検討事項として重要である。

企業誘致対策監 庁内で協議し、詳細設計の前に、今後の進め方を整理する。



工業（産業）団地基本計画の更なる精査を求める

市長の政治施政について



竹中 雪宏
議員

質問 子育て支援の中で、来年7月から小林市立病院で分娩受け入れ再開を目指すとなっているが、順調に進んでいるのか。

市長 小林市が中心となつて、順調に進んでいると聞いている。計上された。さらに、妊婦の不安を解消し安心して分娩に備えられるよう、産科専用の部屋を、えびの市が賃貸契約を結び対応することを提言する。

市長 出産支援金は、一時的な緊急なものである。また、提言のあった中身も含めて、しっかりサポートが出来るように検討する。

質問 人口減少対策は喫緊の課題である。本市の独自策として、保育料の無料化と第3子以降の大学学費を支援する考えはないか。

市長 保育料の無料化は、国の動き等を注視しながら慎重に考えていく。また、大学学費については、国策の不十分な部分を本市独自の給付型奨学金という形でサポートできないか指示をしている。

質問 低年金受給者の生活状況は厳しい。支援策はないか。

市長 心が痛む部分である。制度上難しいが研究をする。



3期目となる市長の政治施政が問われる

作業道を管理用道路に



栗下 政雄
議員

質問 えびの市立病院にMRI等の機械導入は、現状では非常にきびしいと、6月定例会の一般質問で答弁された。その後の対処策は。

市長 非常に財政的にきびしい状況であり、その後も変わっていない。

質問 えびの市立病院にMRI等の施設が整備されておらず、患者や家族からの不安の声を聞くが。

市長 MRIの導入となると、初期投資額が1億5,000万円、年間保守料が700万円程度かかる。併せて、医師、スタッフ、放射線技師の確保も必要となる。今後、先生方の意見等も聞きながら検討する。

質問 宮内水路は平成30年から工事着工となると思う。工事作業

道路を、地元の方が利用できる管理道路として買収するように、要望書を国・県へ提出していただきたい。

市長 管理用道路がなく、維持管理が出来ず苦慮している。県にしっかりと要望していく。



地域医療の基幹病院と位置づけられているえびの市立病院

全ての教室にエアコンを



西原 政文
議員

質問 核兵器禁止条約が国連決議として採択され、国連の軍縮担当上級代表も演説の中で決議を高く評価した。核兵器禁止条約が締結されたことを市長はどう考えるか。

市長 被爆国としての民間活動があり世界的な認識のもとに意思決定がされたという意義のある事だと思っている。日本だけでなく核兵器をなくすというのは、全世界で取り組むべき問題だと思う。
質問 猛暑の中、新燃岳も噴火し火山ガスも来た。全ての教室にエアコン設置を急ぐべきだ。

教育長 教育委員会としても来年から全ての小中学校への空調整備に向けて作業を進めている。国に対して要望もしており採択時期が不確定なところがあるが可能な

限り早く進めたい。

質問 埼玉県上尾市は、入札妨害で市長と議長が逮捕された。えびの市も過去に同様の事件があり入札価格公開が必要だ。業者の積算は同様ソフトを使う。再発防止のために入札予定価格公開すべきだ。

指名委員会委員長（副市長） 入札価格の事前公表の禁止規定はないが、えびの市において事前公表はおこなっていない。



市内全学校施設への早期の冷暖房設置が必要

障害児・者の地域支援について



小東 和文
議員

質問 知的障害者のグループホームの設置については、対応が急がれる問題で支援が必要と答弁されてから既に7ヶ月経過している。

福祉事務所長 事業者に補助金制度・空き家情報等を提供したり、連携を取りながら物件を見に行ったり模索している。

市長 財政的な面の負担が原因で進まないというのであれば、市独自でも財政支援をしていきたい。

質問 人口減少や少子高齢化等を背景とした流通機能や交通網の弱体化、過疎化が進む地域では、食料品など日常的な買い物が難しくなっている。買い物弱者対策は。
市長 実態把握中である。移動販売車であったり、地域で見守りを兼ねて買い物を代行していただ

いたり、色々な方法があると思っているが、対策については今後方向性を示していきたい。

質問 全小中学校への冷暖房設置については平成30年度に中学校、平成31年度に小学校へ設置予定か。
市長 現時点ではその通りだが、新燃岳の降灰の件があったので、小学校の部分の前倒しで文科省へ補助金の要望をする。要望が採択されれば順次整備を進めて行く。



障がい者も安心して住める環境整備が必要

急げ!! 小中学校の冷暖房施設



蔵園 晴美
議員

質問 教育現場の公平性から、冷暖房の早期整備を進めるように指摘していたが、学校現場では待ったなしの現状と聞いている。

どのような取り組みがなされているか。一日も早い整備を提案する。
教育長 小学校の補助金は文部科学省に10月末に追加要望した。

学校教育課長 平成30年度は中学校と岡元小学校を1億1,000万円で、平成31年度は3小学校を1億4,000万円で整備する。補助金は合わせて8,000万円。平成31年度予定の小学校については追加要望しているが、平成30年度における交付決定・整備は不確定である。

質問 京町温泉活性化については、昭和のまちづくりを提唱している。プロジェクトを立ち上げ活

性化に結び付ける考えはないか。街並の形成・創出については行政の努力も必要。市の考えは。
市長 以前、京町温泉活性化プロジェクトを立ち上げ、活動していた。街並み形成・創出に行政も積極的にかわり成果を出していきたい。



教育現場への冷暖房の早期整備が求められる

急げ 暮らしやすい環境づくりを!



田口 正英
議員

質問 買い物弱者への生活を支えるため、物資と高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業者への支援はできないか。

市長 今回、私が掲げている四年間の重点施策の中にも記載しているが移動販売事業者への支援等も可能性としてはあるが、現時点ではアンケートであったり、実態調査を行なっている。地域にどのような問題やニーズがあるのか調査し、今後、政策として取りまとめていきたい。

質問 胃がん予防に向け、中学生を対象にピロリ菌検査の実施はできないか。

学校教育課長 教育委員会としては国や県の動向を注視し、学校の意見を聞きながら必要に応じて対応をしていきたい。

質問 乳幼児の保護者が市内で購入した育児用品の購入費について助成はできないか。
健康保険課長 今後「子育て支援支援センター」を立ち上げ、出産から出産後の育児など、相談業務に対応していく予定である。その中で検討していく。



道路整備も住みよい暮らしのため重要

新議会構成決まる

平成29年10月臨時会において、9月24日投開票の市議会議員選挙後の新たな議会構成が決まりました。

任期は平成29年10月3日からおおよそ2年間となっております。

新議長のもとに、すべての委員会メンバーや議会選出委員等も新しくなりました。

議長 上原康雄
副議長 北園一正

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚文美
副委員長 松窪ミツ工
委員 小宮寧子・吉留優二
小東和文・竹中雪宏
栗下政雄・上原康雄

※総務課 企画課 財政課 基地

防災対策課 市民協働課 財産管理課 税務課 会計課 議会事務局

選挙管理委員会 監査委員会
公平委員会 水道課 市立病院

及び教育委員会の所管に属する事項

※他の委員会に属しない事項

産業厚生常任委員会

委員長 西原義文
副委員長 田口正英
委員 金田輝子・中山義彦
西原政文・蔵園晴美
北園一正

※市民環境課 健康保険課 介護

保険課 福祉事務所 観光商工課
畜産農政課 建設課 農林整備

課及び農業委員会の所管に属する事項

議会運営委員会

委員長 西原政文
副委員長 松窪ミツ工
委員 吉留優二・金田輝子
蔵園晴美・栗下政雄

※議会運営に関すること

議会の会議規則、委員会条例に関する事項 議長の諮問に関する事項

議会選出監査委員

委員 竹中雪宏

議会広報特別委員会

委員長 田口正英
副委員長 遠目塚文美
委員 小宮寧子・吉留優二
金田輝子・中山義彦
西原政文

議会報告公聴特別委員会

委員長 栗下政雄
副委員長 蔵園晴美
委員 小東和文・松窪ミツ工
北園一正・竹中雪宏
西原義文

西諸広域行政事務組合議会議員

議員 竹中雪宏・西原政文
栗下政雄

えびの市戦没者追悼奉賛会

委員 上原康雄・北園一正

えびの市青少年育成市民会議

委員 吉留優二・金田輝子

都市計画審議会委員

委員 上原康雄・中山義彦・小東和文

えびの市畑地かんがい事業

委員 上原康雄・田口正英

推進協議会

委員 上原康雄・北園一正
遠目塚文美・西原義文

人権同和問題啓発推進審議会

委員 上原康雄・北園一正
遠目塚文美・西原義文

えびの市森林・林業・林産業

活性化議員連盟

会長 北園一正
副会長 遠目塚文美・西原義文
事務局長 小宮寧子
幹事 吉留優二・蔵園晴美

他に、

JR吉都線利用促進協議会

小林・えびの・高原定住自立圏

構想推進首長・議長会議

環霧島会議

霧島ジオパーク推進連絡協議会

宮崎県鉄道整備促進期成同盟会

高速自動車国道建設促進宮崎県

期成同盟会

西諸地区農業水利総合開発事業

促進協議会

陸上自衛隊第24普通科連隊と

えびの駐屯地存続期成同盟会

川内川上流河川改修期成同盟会

川内川改修促進期成会

飯野高等学校を守り育てる市民

の会

国道447号整備促進期成会

えびの市郷土芸能保存連合会

等は議長職になっていきます。

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわれたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		上原	小宮	吉留	金田	中山	遠目塚	小東	田口	松窪	北園	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	栗下	
議案第66号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
議案第68号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
認定第1号	平成28年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	認定
認定第2号	平成28年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認定第4号	平成28年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

【平成29年6月】

1日 6月定例会開会
 全員協議会
 議会運営委員会
 (所管調査)
 7日 議会運営委員会
 12日 議会運営委員会
 認知症サポーター養成講座
 議員研修会
 全員協議会
 議会広報常任委員会
 6月定例会閉会
 全員協議会
 19日 議会広報常任委員会
 28日 議会広報常任委員会
 議会報告会
 30日 議会運営委員会
 (実行委員会)
 【平成29年7月】
 3日 議会報告会
 (広報チラシ仕分け)
 議会広報常任委員会
 南九州中部議長会総会
 議員研修会
 えびの市消防団夏季点検
 操法大会
 奈良県宇陀市視察受入れ
 産業厚生常任委員会
 (管内調査)
 西諸地区森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
 議会報告会
 (実行委員会)
 県林活連絡会議役員会
 25日 18日 全員協議会
 14日 西諸地区森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
 13日 奈良県宇陀市視察受入れ
 12日 産業厚生常任委員会
 9日 えびの市消防団夏季点検
 7日 議会広報常任委員会
 6日 南九州中部議長会総会
 3日 議会報告会

総会

26日 宮崎県市議会議長会議員研修会
 27日 議会報告会(上江・飯野地区)
 31日 議会報告会
 (加久藤・真幸地区)
 【平成29年8月】
 4日 議会報告会(班別会議)
 8日 議会報告会(全体会議)
 10日 議会報告会(全体会議)
 16日 議会報告会(全体会議)
 24日 全員協議会
 議会報告会
 (実行委員会)
 30日 議会運営委員会
 8月臨時議会
 全員協議会
 【平成29年9月】
 2日 全員協議会
 6日 議会広報常任委員会
 25日 市議会議員当選証書授与式
 27日 議員協議会
 29日 会派代表者会議
 【平成29年10月】
 3日 10月臨時議会
 10日 全国和牛共進会祝賀会
 11日 議会運営委員会
 16日 10月定例会開会

編集後記

改選後、新たな議会構成の中、議会広報特別委員会の最初の発刊となる議会だよりです。編集委員会では市民の皆さんが読みやすく、わかりやすい誌面作りを心掛けて編集に取り組んでまいります。10月の定例会では新人4人を含む12名の議員が一般質問で危機管理や防災訓練、鳥獣対策、さらには商工業への支援策など活発な質疑がなされました。今後も議会での審議や議員活動など市議会だよりが市民との架け橋として親しまれ、読んでいただけるよう努めてまいります。

議会広報特別委員会
 委員長 田口正英

